

課題検討シート（案）

寺泊地域委員会

| | 提案内容 | 現状・課題 | 提案内容 | 方向性 | 関係課等 |
|---|-------------|--|---|---|----------------|
| 1 | 放課後児童クラブの充実 | 現在、放課後児童クラブはセンター大河津にしかなく、また、手狭状態である。寺泊地域（海岸部）の子供達は、遠い支所での乗換など、不便を強いられている。 | 寺泊地域においても、寺泊小学校での開設を軸に検討してほしい。 | 寺泊小学校での放課後クラブ利用者の実態調査の結果、数名の希望者がいたが、現在、寺泊小学校には開設できる適当なスペースがない。このため、近くにクラブが開設できる適当な施設がないか、また、近い時期に公的施設等の建設に合わせ開設ができないか調査・検討していきたい。 | 子供家庭課 保育課 |
| 2 | 地域交通対策 | 公共交通がない地域においては、高齢者や学生など自動車を持たない、また、運転が出来ない人達の交通対策が課題となっている。 | 手軽で小回りの効く交通手段がないか検討してほしい。 また、燕市では、循環バスを走らせており、学生の通学等に効果を発揮している。長岡市でもできないか。 | まず、困っている実態やニーズを調べる必要があり、その後、勉強会などを開催し、地域にどのような手法の交通手段が必要か確認する必要がある。いずれにしても、地域での発意が前提となり、地域と行政と協働で方策を研究していく必要がある。 | 交通政策課 |
| 3 | 地域医療の充実 | 寺泊地域には現在診療所しかなく、しかも利用効率が悪い。また、小児科がなく夜間診療もない。このため、どうしても長岡や吉田、燕まで通院しなければならないのが実態である。 | もう少し、寺泊で必要最小限の診察が受けられる体制を整えてほしい。 | 寺泊地域における医療体制の現状を踏まえ、改善に向けて長岡市福祉保健部と協議・検討をしていきたい。 | 国保年金課 |
| 4 | 住宅地の購入促進 | 人口減少が進んでおり、特に若手世帯の地域外の転出が目立っている。このため、購入しやすい土地の販売など、少しでも歯止めを掛ける対策がないか。 | 若者世帯や他地域からの移住者が土地を求め住めるよう、市有地の格安な提供や安価な住宅団地の造成が出来ないか。 | 寺泊地内には、4か所、全体で約15,200㎡の市有地がある。販売に当たっては原則、不動産鑑定等を実施し、適正価格で販売することになる。市有地の売却や宅地造成については、定住者促進のため、ニーズ調査などを通して、希望者への売却を検討していきたい。 | 管財課 |
| 5 | 住宅の購入促進 | 人口減少が進んでおり、特に若手世帯の地域外の転出が目立っている。購入しやすい中古住宅の販売など、少しでも歯止めを掛ける対策がないか。 | 若者世帯や他地域からの移住者が気軽に住めるよう、市営住宅等の格安な提供や、安価な空家の斡旋が出来ないか。 | 市営住宅の家賃は収入により市条例で決まっており、この価格帯を更に下げることができないことになっている。 また、空家については、「空家バンク」に登録されている物件の情報収集や空家持主との交渉になってくるが、手頃な住宅の確保に向け、方策を検討していきたい。 | 生活支援課 住宅施設課 |
| 6 | 少子化対策 | 寺泊地域においては、15歳未満の人口比率が約9%と年々少子化傾向に推移している。このため、これに歯止めを掛けるべきなんらかの対策が必要になっている。 | 未婚者、晩婚者の結婚を促す取組として、出会いの場の提供や相談などの婚活活動を支援する必要がある。 | まずは、今年寺スポで実施した婚活活動を軸に、来年度「ふるさと創生基金事業」の一部資金を活用し、さらに婚活活動を拡充させ、寺泊地域の既婚者を増やす取組を行う。 | 寺泊支所 寺スポ |